

Q&A

肺癌治療中に発症した大腸炎

【問題】

症例：60歳代，男性。

主訴：下痢，血便。

既往歴：特記事項なし。

生活歴：喫煙 20歳より20本/日，飲酒 焼酎1合/日。

家族歴：父に膀胱癌あり。

現病歴：20XX年3月に右肺扁平上皮癌（T4N2M1a Stage IV）と診断された。カルボプラチンとパクリタキセルによる化学療法を受けるも治療効果に乏しかったため，同年11月からニボルマブへ変更となった。同薬185mgを3週間隔で4回投与を受けた頃より1日10行以上の下痢と血便が出現し，改善しないため消化器内科に紹介となった。

現症：身長166cm，体重54kg，体温36.2℃。意識清明，血圧94/55mmHg，脈拍107/分。眼瞼結膜に貧血あり，眼球結膜に黄疸なし，腹部は平坦・軟，下腹部に反跳痛をとまなわない圧痛あり。

血液検査所見：WBC 6440/ μ l，RBC 296×10^4 / μ l，Hb 7.9g/dl，Ht 26.3%，Plt 523×10^3 / μ l，TP 7.2g/dl，Alb 2.7g/dl，LDH 126U/l，CRP 9.1mg/dl。

便培養検査：常在菌のみ。

腹部CT：全大腸にびまん性の壁肥厚あり。

S状結腸（Figure 1）と直腸（Figure 2）の大腸内視鏡所見を示す。

1. 考えられる病名は？
2. 選択すべき治療は？

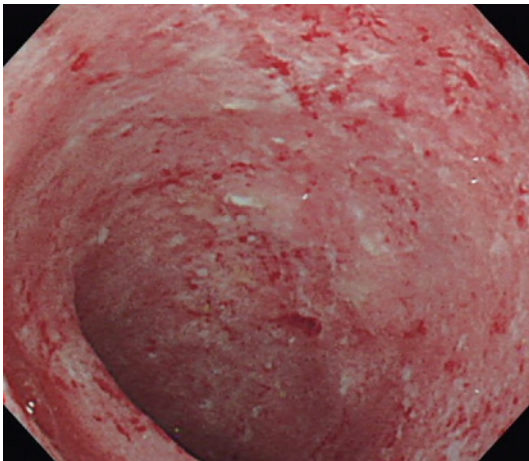


Figure 1.

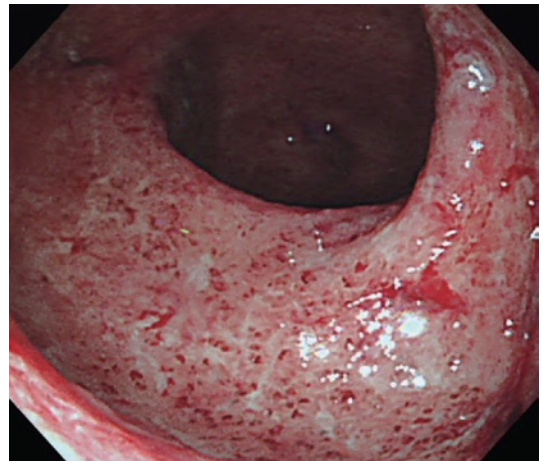


Figure 2.